

第47回滋賀県公立小中学校事務研究大会オリエンテーション

研究大会の内容は、このオリエンテーションを参考にしてください。みなさまのご参加をお待ちしております。

全体会Ⅰ ～「つかさどる」道を歩んでいくために～

湖西ブロック実行委員会

平成29年4月1日に事務職員の職務規程が「事務をつかさどる」に変わりました。法改正から1年半余りが経ち、さまざまところで、【つかさどる】についての議論・研究が進められています。本全体会でも、【つかさどる】をテーマとし、教育研究家 妹尾 昌俊様と愛知教育大学 准教授の風岡 治様、大津市立皇子山中学校 校長の島崎 輝久様を迎え、県内事務職員を交え、現状や実践を踏まえ、パネルディスカッション形式で議論を深めたいと思います。

また、研究大会当日は、ICTを活用し、参加いただく皆様自身のスマートフォン等で、QRコードを読み取っていただき、webも通じて参加者の皆様との活発な協議を行いたいと考えております。事前に記載のQRコード先の簡単なアンケートにお答えいただきご参加いただくと幸いです。この全体会を通じて、これからの学校事務の在り方や事務職員の役割について一緒に考えていきましょう。



全体会Ⅱ ～「新しい学校事務の機能を探る」～

滋賀県公立小中学校事務研究協議会役員会

～2018夏、完遂。2019夏、新たなステージへ～

2018夏、全国公立小中学校事務研究大会が千葉県で開催されました。本年度は、滋事研が分科会を担当して研究発表を行いました。滋事研研究部からは「新しい学校事務の機能を探る」をテーマに、学校組織図から見える新しい学校事務の機能について研究を行い、事務職員のマネジメント力の必要性や学校運営への新たな関わり方を提案しました。そして、「地域協働」「学校組織運営」「学校事務の共同実施」「学校事務職員の研修制度」について、県内事務職員の実践を紹介しながら、全国から参加したみなさんと共に議論を深めました。

学校事務職員の存在が注目されている、まさに「今」。学校事務・学校事務職員の新たな可能性、そして、可能性を最大限に広げるために必要なことは何か。さまざまな角度からみなさんと一緒に考え、議論を重ねて、2019夏、全国公立小中学校事務研究大会岡山大会へつなげていきたいと思ひます。

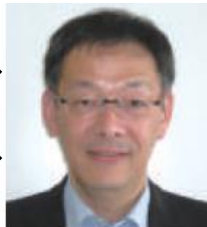
創造しよう！教育を活かす学校事務を

～「つかさどる」道を手を歩いて行くために～



妹尾昌俊氏

教育研究家。
文科省学校業務改善アドバイザー、
中教審「学校の働き方改革特別部会」委員。



風岡 治氏

愛知教育大学専門
コース准教授。中教
審「学校の働き方改革特別部会」委員、
文科省 CS マイスター、
熟議協働員。



島崎輝久氏

滋賀県大津市立皇子山中学校校長。大津市教育委員会 CS 推進プロジェクト委員。



松田幸夫氏

滋賀県長浜市余呉小中学校主任事務主査。
滋賀県教育委員会 CS
アドバイザー。滋賀県公立小中学校事務研究協議会会長。

infinity

大会のねらい

次期学習指導要領の観点のひとつに、「社会に開かれた教育課程」があります。教育課程の実施に当たっては、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりしながら、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることが重要です。

そのためには、校長のマネジメントを支える学校事務職員の活用や共同実施（共同学校事務室）の取り組みが、「社会に開かれた教育課程」への関わりに密接に関連し、各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現につながっていくと考えます。これからの学校においては事務職員が積極的にマネジメントを行い、業務改善、地域連携へ展開できる学校組織を構築していく必要があります。

今回の大会では、一日を通じてこれからの教育を参加者自身が当事者として語り合い、確かな歩みにつなげていきましょう。



コーディネーター
堀井直樹
大津市立上田上小学校
主任事務主事